

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(岐阜大学・教育学研究科(教職大学院))

活動名	大津市教職員特別研修会
対象者	大津市立全小中学校教職員 (PART2 では、大津市立幼稚園・保育園も)
実施期間	平成 24 年 1 月 6 日 (PART2 は、平成 24 年 8 月 28 日に実施)
活動場所	大津市生涯学習センターホール
教員名 (専門分野) 関係者等	橋本 治 (教育臨床)
参加者数	約 250 名
活動の目的	「子どもたちのいじめ問題を見逃さないために」ー繊細な感覚と観察力の向上と人権意識の高揚ーというテーマでの講演を通して、大津市の「いじめ問題」の解決に向け緊急の研修会を開催。3 学期から子どもたちをより良く観ていくためにどんなことに心がけていったらよいかを習得するのが主な目的である。
成果	「いじめ問題を見逃さない 10 のポイント」を中心に、特に二種類の「初期段階のいじめ」への関わりに言及した。それは「初期消火という意味のいじめの初期段階」と「人と人との関わりを学ぶ低年齢といういじめの初期段階」である。それを受けて大津市では、8月28日のPART2では、全小中学校に加え、幼稚園・保育園も研修対象としていただいた。
<p>【活動内容】</p> <p>「大津市教職員特別研修会」 子どもたちのいじめ問題を見逃さないために 2012 年 1 月 6 日 (於：大津市生涯学習センター 岐阜大学大学院教育学研究科 橋本治)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに <ol style="list-style-type: none"> (1) 内閣府から依頼の講演 (中国・四国ブロック担当) 2011.8.26. 広島市：鯉城会館 (2) 自己紹介 2. 本日の話の概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今の子どもたちの発達の現状と課題 (2) 子どもたちのいじめ問題を見逃さないために (事例を通して) (3) 成長支援関係を持つ (受容性と指導性の組み合わせ) 3. 3つの段階の教育援助 (石隈氏、1996年日本教育心理学会年報 P.42) 4. 今の子どもたちの発達の現状と課題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 幼児性の遅延 (東京学芸大学、岩立京子氏) (2) 思春期の早まり (東京学芸大学、松尾直博氏) と遅延・長期化 (橋本) (3) 小1プロブレム (4) 中1ギャップ (5) 高1ドロップ (2008.7.3. 橋本命名) 5. 主な発達障害の分類と特徴 (発達障害者支援法での定義などから：中日新聞より) 6. ケース1・・・(1) 保育園年長女児Aさん (いじめ・体調不良) 	

(2) 対応について

- ① 「体調不良」への対応（医療機関等との連携）
- ② 「いじめ」への対応（専門機関等との連携）
- ③ 支援体制の確立（①・②を含めて園内のチームを確立して）
- ④ 将来への展望を明確に（少なくとも5年後を見すえて）

7. 事例をみていく時の「基本的な考え方」

- (1) 信頼関係を第一に
- (2) 「こころ」と「からだ」を大切に
- (3) 「きっかけ」から取り組む

8. アスペルガー症候群（『医学大辞典 第19版』、南山堂、2008年）

9. ケース2・・・(1) 小学校4年生男子B君（いじめ・アスペルガー症候群）

(2) 対応について

- ① 「発達障害（アスペルガー症候群）」への対応（医療機関等との連携）
- ② 「いじめ」への対応（専門機関等との連携）
- ③ 支援体制の確立（①・②を含めて校内のチームを確立して）
- ④ 将来への展望を明確に（少なくとも5年後を見すえて）

10. ケース3・・・(1) 中学校1年生男子C君（いじめ・不登校）

(2) 対応について

- ① 「不登校」への対応（専門機関等との連携）
- ② 「いじめ」への対応（専門機関等との連携）
- ③ 支援体制の確立（①・②を含めて校内のチームを確立して）
- ④ 将来への展望を明確に（少なくとも5年後を見すえて）

11. いじめ問題を見過ごさない10のポイント

- ①本人を支えるためには「ともに支えていきましょう」という、家庭と学校との信頼関係が不可欠である。
- ②一般的な相談に大きな相談が隠れている。
- ③教師の立場からみて、「子どもの方が悪い」という場合でも、保護者が「学校がとりあってくれない」と感じる場合は、対応が十分ではない。
- ④子どものサインをキャッチできる素地は、子どもと感動したり驚いたりする共感性の感覚である。
- ⑤教師から見れば模範的な子だが、周りの雰囲気合わないと孤立してしまう。
- ⑥一人でもいいから、心を割って話せるか打ち明けられる子がいることが大切である。
- ⑦複数の見方をしないと、本当の姿が見えてこない。複数の教師が連携することで、よりよいアドバイスが可能になる。
- ⑧教師は相談に慣れていない。アマチュアであることを自覚しなければいけない。
- ⑨相談は、形にとらわれる必要はない。保護者が「よく聴いてくれた」となればよい。
- ⑩教師と保護者とで考えがすれ違うことはよくある。その時、すぐに対応するためには、教師が一步引くべきである。

12. 「社会性」について・・・新版S-M社会生活能力検査（三木安正監修）

13. 成長支援関係を持つ（指導性と受容性の組み合わせ）

14. おわりに

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(愛知教育大学・教育学部)

活動名	愛知県教育委員会外国人児童生徒教育講座（追加講座）
対象者	外国人児童生徒教育を担当する小中学校，高等学校，特別支援学校教員
実施期間	平成 22 年 1 月 26 日
活動場所	愛知教育大学
教員名（専門分野） 関係者等	五十嵐 哲也（臨床心理学）
参加者数	50 名
活動の目的	外国人児童生徒に対する適応指導，日本語指導を充実させるため，語学及び日本語指導法等の研修を実施し，外国人児童生徒教育の円滑な推進を図る。
成果	外国人児童生徒をめぐるいじめ，虐待，不登校の現状とその支援について，知識及び実践法を獲得する。
<p>【活動内容】</p> <p>「外国人児童生徒のいじめ・虐待・不登校問題の実態と解決法」についての講義及び「外国人児童生徒理解のためのロールプレイ及び事例研究協議」についての指導助言。</p>	

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(愛知教育大学・教育学部)

活動名	愛知県教育委員会外国人児童生徒教育講座
対象者	外国人児童生徒教育を担当する小中学校，高等学校，特別支援学校教員
実施期間	平成 22 年 8 月 20 日
活動場所	愛知教育大学
教員名（専門分野） 関係者等	五十嵐 哲也（臨床心理学）
参加者数	50 名
活動の目的	外国人児童生徒に対する適応指導，日本語指導を充実させるため，語学及び日本語指導法等の研修を実施し，外国人児童生徒教育の円滑な推進を図る。
成果	外国人児童生徒をめぐるいじめ，虐待，不登校の現状とその支援について，知識及び実践法を獲得する。
<p>【活動内容】</p> <p>「外国人児童生徒のいじめ・虐待・不登校問題の実態と解決法」についての講義及び「外国人児童生徒理解のためのロールプレイ及び事例研究協議」についての指導助言。</p>	

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(愛知教育大学・教育学部)

活動名	愛知教育大学公開講座・養護教諭専修免許状認定講習
対象者	養護教諭
実施期間	平成 22 年 7 月 29 日～8 月 1 日
活動場所	愛知教育大学
教員名（専門分野） 関係者等	五十嵐 哲也（臨床心理学）
参加者数	50 名
活動の目的	養護教諭専修免許の取得を目指す養護教諭に対し、講習を開催し、その目的を支援する。
成果	養護に関する科目のうち、精神保健に関する科目の単位を取得する。
<p>【活動内容】</p> <p>(1 日目)</p> <p>1 限「不登校の現状と対応」</p> <p>2 限「いじめの現状と対応」</p> <p>3 限「非行の現状と対応」</p> <p>4 限「虐待の現状と対応」</p> <p>(2 日目)</p> <p>1 限「発達障害の現状と対応」</p> <p>2 限「摂食障害の現状と対応」</p> <p>3 限「子どもの心を理解するには—心理アセスメントの理論」</p> <p>4 限「心理アセスメントの実際—バウムテストを中心として」</p> <p>(3 日目)</p> <p>1 限「カウンセリング的対応の基礎—話の聴き方・進め方の理論」</p> <p>2 限「ロールプレイを通してカウンセリング的対応の実際を考える」</p>	

【活動内容】

- 3 限「非言語的カウンセリングを体験する—コラージュ」
- 4 限「心理的問題を予防するための教育方法を体験する」

(4 日目)

- 1 限「子どもをチームで支えるための基礎理論」
- 2 限「『チームで支援』を体験する」
- 3 限「まとめ」

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(愛知教育大学・教育学部)

活動名	愛知教育大学公開講座・特別支援教育支援員のための公開講座
対象者	特別支援教育支援員，それを目指す方，ならびに関心のある方
実施期間	平成 23 年 8 月 21 日
活動場所	愛知教育大学
教員名（専門分野） 関係者等	五十嵐 哲也 （臨床心理学）
参加者数	30 名
活動の目的	特別支援教育支援員を務める中で生じる様々な課題を解決するための方策について，知識を深める。特に，本時では，いじめの理解を行う。
成果	いじめに関する知識をもとに，特別支援教育支援員として活動を行う。
<p>【活動内容】</p> <p>「いじめ」について，その実態と，文部科学省による定義を示し，さらに加害者・被害者等の心理を解説している。また，いじめによる被害者への影響についてと，いじめの経過（孤立化・無力化・透明化）について講義し，いじめを早期に発見し，対応する重要性を説明した。また，その早期発見のポイントや，支援法についても講義した。</p>	

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(愛知教育大学・教育学部)

活動名	愛知教育大学公開講座・特別支援教育支援員のための公開講座
対象者	特別支援教育支援員，それを目指す方，ならびに関心のある方
実施期間	平成 24 年 8 月 18 日
活動場所	愛知教育大学
教員名（専門分野） 関係者等	五十嵐 哲也 （臨床心理学）
参加者数	10 名
活動の目的	特別支援教育支援員を務める中で生じる様々な課題を解決するための方策について，知識を深める。特に，本時では，いじめの理解を行う。
成果	いじめに関する知識をもとに，特別支援教育支援員として活動を行う。
<p>【活動内容】</p> <p>「いじめ」について，その実態と，文部科学省による定義を示し，さらに加害者・被害者等の心理を解説している。また，いじめによる被害者への影響についてと，いじめの経過（孤立化・無力化・透明化）について講義し，いじめを早期に発見し，対応する重要性を説明した。また，その早期発見のポイントや，支援法についても講義した。</p>	

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(三重大学・教育学部)

活動名	地域フォーラム（三重県松阪市）
対象者	中学校教員，保護者
実施期間	過去5年以内
活動場所	松阪市内公立中学校
教員名（専門分野） 関係者等	岡田 珠江（学校臨床心理学）
参加者数	不明
活動の目的	公立中学校において，いじめ問題についての対応について理解を深める
成果	いじめ問題についての理解が深まった。
<p>【活動内容】 公立中学校において，いじめ問題についての理解を深めるべく，講演をおこなった。 いじめの実態，心的外傷とケアについて理解を求めた。</p>	

I-③ いじめに関する社会貢献活動

(三重大学・教育学部)

活動名	障がいのある人たちへのいじめ、差別について
対象者	市民
実施期間	2008年度, 2009年度
活動場所	三重県人権センター, 三重県人権保育専門講座
教員名(専門分野) 関係者等	荒川哲郎(特別支援教育)
参加者数	不明
活動の目的	障がいのある人たちへのいじめ、差別についての講演
成果	いじめ問題, 差別問題についての理解が深まった.
<p>【活動内容】 障がいのある人たちへのいじめ問題, 人権問題についての理解を深めるべく, 講演をおこなった.</p>	